

下水道局だより

未来に引き継ぐ下水道 vol.5

令和元年6月1日発行
下水道局

☎239-1030 FAX 239-1037

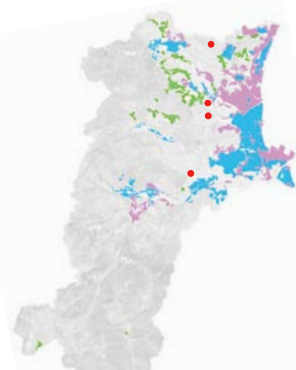
津市の下水道事業をもっと知っていただくため、課題や経営状況について昨年度からシリーズでお伝えしています。前回までの下水道局だよりでは、公共下水道について、汚水処理費用や使用料が不足している現状を紹介しました。

第5回は、公共下水道以外の汚水処理や公共下水道の令和元年度予算についてお知らせします。

公共下水道以外の汚水処理

前回までは、公共下水道事業についていろいろ教えてもらったけど、津市全域で公共下水道は使えるようになるの？

右の図で、青色の地域が現在公共下水道を使用できる地域で、ピンク色は今後整備する地域なんだ。津市ではそれ以外に地域の特性に応じて、「市営浄化槽」「共同汚水処理施設」「農業集落排水」の3事業を行っているんだよ。



- 公共下水道で処理する地域
- 公共下水道を今後整備する地域
- 農業集落排水の地域
- 市営浄化槽の地域
- 共同汚水処理施設の地域

公共下水道事業とどう違うの？

「市営浄化槽事業」は、公共下水道の計画がない地域に、津市が合併浄化槽を設置したり、個人が設置した合併浄化槽の維持管理をしたりする事業だよ。「共同汚水処理施設事業」は、同じく公共下水道の計画がない地域で、津市が汚水処理の管理を行うことを希望する団地について、一定の整備をしてもらった上で、その後の管理を引き継ぐ事業なんだ。

「農業集落排水事業」はどんな事業なの？

まとまった集落単位で各地域にある小規模な施設を使って汚水を処理する事業だよ。現在、津市では26カ所の農業集落排水処理施設があるんだよ。

津市の下水道の課題

津市ではさまざまな方法で汚れた水を処理しているんだね。公共下水道事業は厳しい経営ということだったけど、この3つの事業はどうなの？

「市営浄化槽事業」は、維持管理などの必要な経費約3.3億円に対して、収入は使用料約0.6億円を含めた約1.3億円で、約2億円も不足しているんだよ。「共同汚水処理施設事業」は、必要な経費約0.5億円に対して使用料収入が約0.2億円で、約0.3億円の不足、「農業集落排水事業」は、必要な経費約5.5億円に対して、収入が使用料約1.3億円を含めた約4.4億円で、約1.1億円不足しているんだ。

公共下水道事業と同じで、適正な収入の確保が課題なんだね。

各事業の費用を賄うための財源

